

北海道版構造改革・地域再生特区（北海道チャレンジパートナー特区）に係る計画認定申請（第5回）の状況について

地域振興・計画局

1 概況

平成18年5月15日から6月9日までの間に第5回計画認定申請を受付けたところ、次のとおり計画認定申請が提出された

2 計画の概要

申請主体	上士幌町・上士幌町教育委員会
特区計画の名称	イムノリゾート高校振興元気まち特区
計画の概要	<p>「イムノリゾート上士幌構想」等に基づき、上士幌高等学校において、アレルギー疾患等で就学に影響を及ぼしている高校生を道外から受け入れ、「療養と就学」を両立する機会を提供する。</p> <p>(1) アレルギー疾患等で就学に影響を及ぼしている生徒の就学を、就学期間1年以上に限定して、人数を現行2学級(定員80名)の約30%(25名前後)を上限に実施する。</p> <p>(2) 単位制を導入し、上記受け入れ生徒個々に合わせた教育を提供するとともに、キャリア・環境・観光学等の特色ある科目を導入し、地域に根ざす人材育成を行う。</p>
道に求める支援措置等の内容	<p>(1) 道外に保護者が居住する生徒の就学(入学・転編入学)の容認 保護者の住所が道外に在する場合においても、就学できるようにすること。 特に、同校の入学選抜募集要項等に「学校長が健康回復・増進を図る必要があると認めるとき」の掲載(例示)を認めること。</p> <p>(2) 単位制の導入及び教職員加配措置を求める国への要望の実施 単位制の導入等 特例として1学年2学級の同校に単位制を導入し、全日制単位制普通科を設置すること。 教職員定数の加配措置について、国への特例措置を提案・要望を検討するので、北海道からも国に対して要望願いたい。</p> <p>外部講師の導入 外部講師の活用にあたって、現行教職員定数外の任用を行うこと。 経費の一部を負担することを(国への特例措置[市町村費負担の道立高等学校の教職員任用]の要望・提案を含め)検討するので、北海道からも国に対して特例措置を要望願いたい。</p>

3 今後の対応

担当部局と協議の上、数ヶ月を目途に認定の可否を検討する予定